

要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : デカブロモジフェニルエーテルのオオミジンコ
(*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試 験 番 号 : A 0 3 0 4 2 9 - 3

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン : OECD 化学品テストガイドライン No. 211 「オオミジンコ繁殖試験」 (1998年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式 (毎日試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 21日間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区, 0.00520 mg/L
(設定値) 試験液調製可能最高濃度の限度試験
助剤濃度一定 : 100 μ L/L (ジメチルホルムアミド使用)
- 6) 試 験 液 量 : 80 mL/容器
- 7) 連 数 : 10容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

試験結果：

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果，測定値の設定値に対する割合は，調製時において 95～100%であった。なお，換水前（調製後 24 時間）の分析については，分析試料として必要な 1L の採取が困難なため行わなかった。

阻害濃度の算出に用いる被験物質濃度は，試験液調製時の測定値を平均したものとした。

2) 21日間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)	> 0.00505	算出不可
50%繁殖阻害濃度 (EC50)	> 0.00505	算出不可
最大無作用濃度 (NOEC)	> 0.00505	—
最小作用濃度 (LOEC)	> 0.00505	—